



Lions Club 332-E地区機関誌

Lion

# 最上川

No. 2

2024 ~ 2025



第106回メルボルン国際大会にてL.安孫子英彦ガバナーとL.西村公夫前地区ガバナー

◆ガバナー・テーマ

楽しくなければライオンズじゃない

◆アクティビティ・スローガン

喜びと感動を分かち合おう

## 第106回 国際大会 in メルボルン

地区ガバナー L.安孫子 英彦

6月23日から25日まで、にオーストラリアのメルボルンで第106回国際大会が開催されました。メルボルンには、6月20日から7日間滞在しました。さすがに7日間も滞在すると、現地に居住しているような感覚になってきます。332複合地区の同期のガバナーたち毎日のように、ホテル近くのスポーツバーに通ってビールを飲んでいました。メルボルン市内には公営の路面電車が走っていて、市内中心部は無料で利用できます。そのため、市内の移動は可能な限り路面電車を利用することになります。市内には、歴史的建造物と近代的なビルが混在しています。また、テニスの全豪オープンのお会場となるテニスコートも存在します。治安は非常に良く、日本とほとんど変わりません。気候も温暖で、山形人の感覚では冬でも寒くありません。物価高の点を除けば、非常に住みやすそうな街です。

大会に先立って、6月21日にガバナーエレクトセミナーが現地で開催されました。世界各地の同期のガバナーエレクトが一堂に会し、ガバナーになるための最後のセミナーを受けました。そして、セミナー終了後、ガバナーエレクト晩餐会に参加しました。翌日は、メルボルン市内の公園でインターナショナルパレードです。パレードには、世界各地のライオンズクラブ会員が国ごとに参加し、それぞれ個性的な衣装で自国をアピールしました。23日は開会式が華々しく開催されました。会場が大きく、後ろの席からはステージがよく見えないため、大画面モニターが何台も用意されステージの様子を映していました。24日は講演会です。オーストラリアで活躍する著名人がスピーチしました。そして、最終日25日の閉会式において、新しい国際会長の就任式とガバナーの就任式が行われました。私も西村前ガバナーよりガバナーエレクトリボンを外していただき、2024～2025年度332E地区ガバナーに就任することができました。

## ブルーリボンセレモニー

キャビネット筆頭副幹事 L.尾崎 良

私がブルーリボンセレモニーと称したイベントはガバナーが次期ガバナーを誕生させる大事なイベントなのだ。毎年国際大会には700を超える地区ガバナーと同じく700を超えるガバナーエレクトが集まり、大いに盛り上がる瞬間があります。ガバナーエレクトは紹介のためのネームプレートとしてELECTと書かれたブルーのリボンを胸につけています。現ガバナーもガバナーエレクトも同じ白いジャケットを着ているのだが、違いは唯一このブルーリボンだけなのです。

このリボンを現ガバナーが外すことで、晴れて新しいガバナーの誕生となるのだが、私はこの瞬間に立ち会うため、南の果てのメルボルンまで向かったのである。

6月20日山形→羽田→シドニー→メルボルン→シドニー→メルボルン→ブリスベン→成田→6月27日山形7泊8日の旅だった。

当日をむかえた。約束の時間は8:30コンベンションセンターだったが、どうも落ち着けない、路面電車を使えば楽に行けるのだろうが、歩いて向かった時刻は7:00だった。距離は2.5kmほど、忘れ物はないかなど考えながら、通勤時間のビル街をビジネスマンと一緒に歩いた。コンベンションセンターに着く前にハンバーガーショップで朝食をとった。ファストフードは意外にもこの旅では利用しなかったのが新鮮に感じた。8時20分ごろ会場に着き332複合地区の座席グループを目指した。純白のジャケットに身を包んだガバナーエレクトたちが待っていました。軽く挨拶を交わして、セレモニーの場所の確保と場所を伝えることに必死だった。エレクトの胸にはELECTと書いてある青いリボン、これをとるため多くの研修・講習を重ねてきた安孫子ガバナーエレクト、大変お疲れ様でした。

そして間もなく訪れるセレモニーでガバナーが誕生します。

大きな歓声が聞こえました！この瞬間、みんなが立上って各々の場所でガバナーのリボンが取り外されます。西村ガバナーが安孫子エレクトのリボンに手がかり、私は動画を回しつつ写真を必死で取ります。ステージがバックになり逆光です、手が動いてブレます。それでもタイミングをガバナーが作ってくれます。近づいたり離れたたり、撮影経験が乏しい私は精一杯でした。ほどなくリボンが外され、ブルーリボンセレモニーが完結しガバナーが誕生したのです。私は初めてこのセレモニーに立ち会い感動し、この瞬間を伝える側として誇らしく思っています。たったリボン1枚は必ずセレモニーに世界から集まり心をつなぐことがこのライオンズクラブでは毎年行われている事、続けてきた事がライオンズ国際協会のプログラムがいかに秀逸なのかが改めて体感した素晴らしい旅でありました。

祝！安孫子ガバナー誕生！



# 第106回 国際大会 in ヌルボルン





# アラート報告

会則・アラート委員長 L.富 樫 武 史

今期332-E地区の会則アラート委員会委員長を務めております、山形羽陽ライオンズクラブ所属、L富樫です。今季一年宜しく願いいたします。

この度、令和6年7月25日に発生した山形県北部（最上・庄内地方）の豪雨災害によりお亡くなりになられた方々に対しまして、心よりお悔やみ申し上げますとともに、被害を受けられました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

活動報告に付きまして、去る7月27日に戸沢村（役場が冠水した所です）へ視察に行つて参りました。

新庄インターまでは良かったが、そこから戸沢村への道路は壊滅的で、なんとか蔵岡地区へ辿り着きました。地区ごと水に飲み込まれた凄惨な状況を目の当たりにし、自然の猛威に恐怖を覚えました。

最上、庄内地区への唯一のルートである47号線が崩落により通行止めの為、この日は庄内地区の視察は断念しました。



すぐに支援活動ができるよう、ガバナー、幹事、各キャビネット構成員で構成する災害対策委員会のグループラインを立ち上げ、最上地区は森ZC、庄内地区は西村ZCに、該当被災地区に対して必要な支援物資の吸い上げをしてもらうように連絡をしました。また、山形県内の各クラブへこの度の集中豪雨の被害の状況のヒアリングを実施しました。

ヒアリングの結果、幸いにも最上、庄内地区以外では被害の報告は上がりず、安心しました。

後日森ZC、西村ZCからの報告で、経口補水液、タオル、ウエス、ゴミ袋が必要との声上がり、両ZC、ガバナー、幹事と数量の打ち合わせを行い、速やかに手配をかけ、両ZCからは分配配分を決めてもらい、戸沢村役場をはじめ、各ボランティアセンターへ日程等すり合わせの上届けて参りました。

森ZC、西村ZCをはじめ、配達時の有志メンバーのご協力、また各クラブメンバーによるタオル、ウエスのご支援をいただき、迅速に対応出来ましたことに感謝申し上げます。

就任直後という事もあり、何をしたら良いのかも分からず、そんな時前アラート委員長の山下里美Lのご指導の下活動できましたことに感謝申し上げます。

また、自分自身も今回の経験で大変勉強になり、今後の活動に活かして参りたいと思われました。

報告は以上になります。



野田ボランティアセンターへ経口補水液





戸沢村役場、鮭川村ボランティアセンターへ経口補水液、ゴミ袋とタオル、ウエス







遊佐町ボランティアセンターへ経口補水液



新庄社協へ経口補水液



被災メンバーが居る真室川LCヘタオル



道中の被災者ヘタオル